

新宿社協だより「けやき」 令和7年度編集方針

1 設定

☆ 新宿社協広報全体

- 伝えていきたいこと「テーマ」
 - ① 知ってほしい、② 参加してほしい、③ 親近感、親しみをもってほしい
- 結果として得たいこと「ゴール」
 - 社協の支援者、賛同者（ファン）を増やす、そして離さない

☆ 新宿社協だより「けやき」

多様な形でけやきを届ける

2 レイアウト

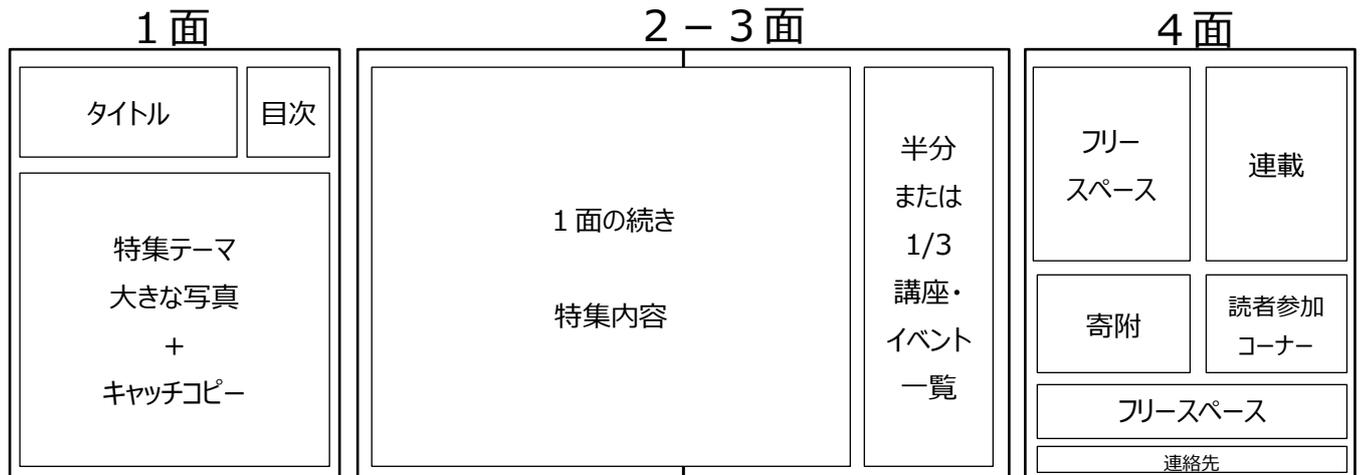
1面 「けやき」・目次・キャッチコピー・写真+HP・SNSの二次元コード

2面 特集

3面 イベント/講座インフォメーション・フリースペース

4面 連載（シリーズ）・読者参加コーナー・寄附者芳名・フリースペース

※内容によっては2-3面見開きにし、特集とイベントなどを合体させることもある。



3 内容

R7年度	テーマ（表紙、2面）	連載記事	フリースペース（裏面）
	『参加方法（入口）』	『社協会員の紹介』	
5月号	体験ボランティア （地域活動支援課）	社協会員 なぜ会員になったのか きっかけ（入口）を紹介	社協会員募集 令和7年度事業計画・予算
8月号	市民後見人基礎講習 （成年後見センター）		検討中
11月号	共同募金（法人経営課）		
2月号	その他（寄附、切手整理など 簡単にできること）		

4 編集

(1) 表紙の工夫

- ・目を引く写真
- ・キャッチコピーで興味を引く。
- ・表紙と中面がマッチしている。
- ・ホームページや各 SNS の二次元コードを追加する。

(2) 紙面の工夫

- ・文字を読みたがらない人（読まない人）が気軽に読める内容。
- ・文字よりも写真など視覚で訴える。
- ・わかりやすい表現を意識。
- ・専門用語をできるだけ使わない。
- ・身近なことをテーマに、自分ごとに思ってもらおう。
- ・読者参加コーナーの継続的な設置により、けやきの存在を身近にとらえてもらう。

(3) 継続的な読者の確保

- ・イベント・講座インフォメーション
→興味がある人に向ける。
- ・連載記事
→おもしろいと思ってもらえたら、次回も読んでもらえる。
- ・読者参加コーナー
→読者から投稿を募集し、参加してもらう。